

11


セキュリティ (安全)


発信者番号通知を設定する (番号通知設定)	11-2
番号非通知の電話を受けない (非通知ガード)	11-3
特定の番号からの電話を受けない (着信拒否登録)	11-4
指紋や暗証番号による認証を行う (指紋設定／暗証番号変更)	11-7
ボタン操作をロックする (キーロック) ..	11-13
ダイヤルをロックする (S ダイヤルロック)	11-14
無操作が続いたときにダイヤルロックする (オートダイヤルロック)	11-15
紛失／盗難時に電話機をロックする (リモートロック)	11-16
ユーザの情報をロックする (ロック設定)	11-22
管理者による制限を行う (管理者ロック)	11-24
設定をリセットする (リセット)	11-33

発信者番号通知を設定する（番号通知設定）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機のディスプレイに表示するかどうかを設定できます。

.....
1 待ち受け画面で    を押す

.....
2  (番号通知設定) を押す

.....
3  (ON) を押す

発信者番号通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 番号通知設定を解除するには

番号通知設定時に  (OFF) を押します。
.....

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手にお断りガイダンスを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

1 待ち受け画面で を押す

2 （非通知ガード）を押す

非通知ガードの設定画面が表示されます。

3 ~ のいずれかを押す

▶ （通知不可能）を押すと

相手が国際電話など通知サービスのない電話回線を使ってかけてきたときは、電話を受けません。

▶ （ユーザ非通知）を押すと

相手が発信者番号非通知を設定しているときは、電話を受けません。


▶ （公衆電話発信）を押すと

相手が公衆電話からかけてきたときは、電話を受けません。

4 （ON）を押す


非通知ガードが設定され、「設定しました」と表示されます。続けて他の項目を設定するときは、手順3～4を繰り返します。

▶ 非通知ガードを解除するには

非通知ガード設定時に （OFF）を押します。

非通知ガードを設定した場合の動作

▶ 番号非通知の電話がかかってくると

着信音を鳴らさずに、相手にお断りガイダンスを流します。ディスプレイには「お断りガイダンス再生中」と表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。お断りガイダンスの再生中は  を押して電話に出ることができます。着信のあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。

▶ 番号非通知でライトメールが送信されてくると

ライトメールを受信せず、相手にお断りガイダンスを流します。ライトメールのあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。
- お断りガイダンスを流しているときは、相手からの音声をレシーブで聞くことができます。
- 本機能の設定にかかわらず、Eメール自動受信を設定している場合には、Eメールは受信されます。「Eメール自動受信機能を設定する」(P.8-33ページ)
- 本機能は、ウィルコムが提供する番号非通知ガードサービスとは異なります。

特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。

電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときや、ライトメールやデータが送信されてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音・バイブ・着信画面表示は動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。登録件数は10件までです。

着信拒否に登録した相手から着信した場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

着信拒否番号を登録する

1 待ち受け画面で を押す

2 （着信拒否登録）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（※11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（※11-12ページ）

認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

▶ 登録されている番号を確認するには

着信拒否番号の一覧画面で、 で確認したい番号を選択し、 を押します。元の画面に戻るには を押します。

4 （新規）を押す

5 ~ のいずれかを押し、着信拒否する番号を入力する

▶ （直接入力）を押すと

文字入力画面が表示されるので、 ~ で相手の番号を入力します。

▶ （発着歴引用）を押すと

発信履歴／着信履歴／メモの画面が表示されるので、 で相手先を選択します。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（※7-5ページ）

▶ （電話帳引用）を押すと

電話帳が表示されるので、必要に応じて表示方法を切り替え、相手先を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（※7-52ページ）

6 を押す

着信拒否番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

続けて他の番号を設定するときは、手順4～6を繰り返します。

お知らせ

- すでに着信拒否番号が10件登録されているときは、登録することができません。新しい番号を登録したい場合は、不要な番号を削除してください。「着信拒否番号を削除する」（※11-5ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの画面で電話番号を選択し、（メニュー）を押して （着信拒否登録）を押しても、着信拒否を設定することができます。

特定の番号で始まる電話をすべて拒否する

手順5の「直接入力」で番号のあとに「*」を付けると、先頭から「*」までの番号で始まる電話番号からの着信はすべて拒否されます。例えば「0901*」と入力すると、「0901」で始まる電話番号すべてが拒否対象になります。

お知らせ

- 以下の場合には登録できません。
 - ・「*」が電話番号の先頭に入力されている場合
 - ・「*」が2つ以上入力されている場合
 - ・「*」の後ろに番号が入力されている場合

着信拒否番号を削除する

着信拒否に登録した番号を削除します。



1 件だけ削除する

1 着信拒否番号の一覧を表示させる

「着信拒否番号を登録する」の手順1～3（[P.11-4](#)ページ）

2 で削除する着信拒否番号を選択し、（メニュー）を押す

▶ 登録されている番号を確認するには

番号を選択して、 を押します。元の画面に戻るには  を押します。

3 （一件削除）を押す

4 で「Yes」を選択し、 を押す

選択した番号が削除され、「削除しました」と表示されます。続けて他の番号を削除するときは、手順2～4を繰り返します。





選択して削除する

1 着信拒否番号の一覧画面で、（メニュー）を押す






2 （選択削除）を押す

3 削除する着信拒否番号を選択する

▶ 1件ずつ選択するには

 で削除する番号を選択し、（チェック）を押します。番号の先頭に「」が付ききます。チェックを外すときは、再度 （チェック）を押します。

▶ 全件選択するには


（メニュー）を押し、サブメニューで （全件選択）を押します。すべての番号の先頭に「」が付ききます。チェックを外すときは、（メニュー）を押し、サブメニューで （全件解除）を押します。

4 （削除）を押す



5 で「Yes」を選択し、 を押す

選択した番号が削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 着信拒否番号の一覧画面で、 (メニュー) を押す

2  (全件削除) を押す

3  で「Yes」を選択し、 を押す
番号がすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

指紋や暗証番号による認証を行う (指紋設定/暗証番号変更)

電話帳ロック、ダイヤルロック、電話帳のシークレットデータの表示、リセット、ロック設定などの操作を行う際には、指紋や暗証番号による認証が必要となります。

指紋認証を行うには、あらかじめ認証に利用する指の指紋の登録と設定をしておく必要があります。指紋の登録と設定を行わなかった場合は、暗証番号による認証となります。「暗証番号で認証を行う」(※11-12ページ)

また、ここで説明する指紋と暗証番号のほかに、管理者の認証用に指紋とパスワードを登録することもできます。「管理者指紋と管理者パスワードを設定する」(※11-24ページ)

指紋認証の注意事項について

指紋認証機能について

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- 指紋の登録には同一の指で3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。本電話機を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋登録・認証時の指の動かし方

- 指紋の登録・認証を行う際は、図1のように指紋センサーに第一関節を合わせ、指をスライドさせながら指紋センサーに指を押し当て、再度指紋センサーが見えるまで下の方向へスライドさせてください。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を減らすことができます。
- 指を置く方向は、図1のように本電話機と同じ方向にしてください。
- 親指などでは指紋の渦の中心が大きくずれたり歪んだりすることがあります。この場合は、登録が困難になったり、認証率(正しく認証操作した際に指紋が認証される割合)が低下したりすることがあるため、指紋の渦の中心を確認し、図2のように渦の中心が指紋センサーの中央を通過するように指紋センサー上をスライドさせてください。

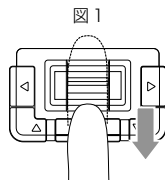
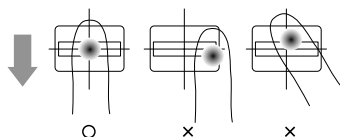


図2



・指紋センサーの中央で指をスライドさせる

図3



- 指紋センサーに指をスライドさせる際には、指を指紋センサーに突き立てるのではなく、図3のように指を指紋センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。

指紋の認証率を向上させるには

- 指の状態が以下のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率が低下することがあります。その場合は、手を洗う、手を拭くなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、登録・認証時の状況が改善されることがあります。
 - ・ お風呂上がりなどで指がふやけている場合
 - ・ 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
 - ・ 手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
 - ・ 手が極端に乾燥していたり乾燥肌の場合
 - ・ 指が泥や油などで汚れている場合
 - ・ 太ったり、やせたりして指が変化した場合
 - ・ 磨耗して指紋が薄くなった場合
 - ・ 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に変化した場合
 - ・ 指が濡れたり、汗をかいたりしている場合
- 指紋センサーの表面がほこりや皮脂で汚れていたり、汗などの水分が付着したり、結露している場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率が低下したりすることがありますので、指紋センサー表面を清掃してください。

指紋を登録する

指紋認証を行うためには、事前に指紋を登録しておく必要があります。登録の際は、同一の指で3回の読み取りが必要です。指紋は、10件まで登録できます。

初めて指紋を登録する場合は、暗証番号の入力が必要です。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で を押す

2 ~ で暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

▶ 指紋を登録済みのときは

登録済みの指紋があり、かつ利用設定が有効になっているときは、指紋認証画面が表示されます。「認証に利用する指紋を設定する」(P.11-9ページ)

指紋認証を行うか、または (番号) を押して暗証番号を入力すると、指紋設定画面が表示されます。

3 を押す

指紋設定の一覧画面が表示されます。

4 (新規) を押す

▶ 指紋を登録済みのときは

登録済みの指紋があるときは、 で未登録の項目を選択して (新規) を押します。

5 指紋を登録する指を、画面のメッセージに従って指紋センサーに押し当て、上から下にスライドする

スキャンされた指紋が正しく読み取られると、もう一度スライドするようメッセージが表示されます。

▶ 読み取りに失敗したときは

うまく読み取れなかった場合は、画面の指示に従って再度スキャンさせてください。読み取りに3回失敗した場合は、手順3の指紋設定の一覧画面に戻ります。手順4から再度操作してください。



6 指紋を3回読み取らせる


読み取りに成功すると、登録名を入力画面が表示されます。

7 指紋の登録名を入力する

8 を押す




「登録しました」と表示され、指紋の登録が完了します。
さらに、登録した指紋を認証に利用するように設定する場合は、手順9に進みます。

9 で「Yes」を選択し、を押す



登録した指紋による認証が可能になります。
指紋の登録名の前には、認証に利用されることを示すマーク「」が表示されます。


認証に利用する指紋を設定する

登録した指紋を認証に利用するかどうか、個別に設定することができます。複数の指紋を利用するように設定することもできます。





1 待ち受け画面で   を押す**2** 指紋認証または暗証番号認証を行う




「指紋や暗証番号で認証を行う」(※11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※11-12ページ)

3 で認証に利用する指紋を選択し、を押す




選択した指紋による認証が可能になります。選択した指紋の登録名の前には、認証に利用されることを示すマーク「」が表示されます。

▶ 利用設定を解除するには




で「」が表示されている指紋を選択して、を押します。「」が消え、その指紋は認証に利用されなくなります。

指紋の登録名を変更する**1** 待ち受け画面で   を押す**2** 指紋認証または暗証番号認証を行う



「指紋や暗証番号で認証を行う」(※11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※11-12ページ)


3 で登録名を変更する指紋を選択し、 (メニュー)を押す**4**  (登録名編集)を押す**5** 登録名を変更する**6** を押す



「変更しました」と表示され、変更した登録名が指紋登録の一覧に表示されます。

登録した指紋を削除する**1 件だけ削除する****1** 待ち受け画面で   を押す**2** 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※11-12ページ)

3  で削除する指紋を選択し、 (メニュー) を押す



4  (一件削除) を押す

5  で「Yes」を選択し、 を押す

選択した指紋が削除され、「削除しました」と表示されます。


削除した指紋があった項目は、空白になります。

選択して削除する

1 待ち受け画面で    を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う





「指紋や暗証番号で認証を行う」(P.11-11ページ)、
「暗証番号で認証を行う」(P.11-12ページ)

3  (メニュー) を押す






4  (選択削除) を押す

5 削除する指紋を選択する



▶ 1件ずつ選択するには

 で削除する指紋を選択し、 (チェック) を押します。指紋の先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押します。

▶ 全件選択するには

 (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件選択) を押します。すべての指紋の先頭に「」が付きます。チェックをすべて外すときは、 (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件解除) を押します。

6  (削除) を押す

7  で「Yes」を選択し、 を押す


選択した指紋が削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する



1 待ち受け画面で    を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(P.11-11ページ)、
「暗証番号で認証を行う」(P.11-12ページ)

3  (メニュー) を押す

4  (全件削除) を押す

5  で「Yes」を選択し、 を押す

指紋がすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

暗証番号を設定する

暗証番号は、4～8桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で を押す

暗証番号変更画面が表示されます。

2 で現在の暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

3 を押す

暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、手順1の暗証番号変更画面に戻ります。

4 で新しい暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

5 を押す

6 確認のため、もう一度、 で新しい暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。




7 を押す

新しい暗証番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 新しい暗証番号の入力が、1回目と2回目で異なっていたとき

エラー音が鳴り、「新しい暗証番号が正しくありません」と表示されます。もう一度、手順4～7を繰り返してください。

▶ 管理者パスワードがお買い上げ時の設定のままのとき

「管理者パスワードが初期値です 暗証番号と同じ番号にしますか?」と表示されます。管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に変更する場合は  で [Yes] を、管理者パスワードを変更しない場合は  で [No] を選択し、 を押します。「管理者パスワードを設定する」(※11-25ページ)

お知らせ

- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの(運転免許証など)をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)

指紋や暗証番号で認証を行う

操作中に、指紋または暗証番号による認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

■ 指紋で認証を行う

1 指紋登録および利用設定を行っている指を、指紋センサーに押し当てスライドさせる

「指紋を登録する」(※11-8ページ)、「認証に利用する指紋を設定する」(※11-9ページ)

指紋のスキャン結果と、登録されている指紋のデータが一致すると、次の画面に進みます。

▶ 認証に失敗したときは

「登録された指紋と一致しません」と表示されます。画面の指示に従って、指を再度スライドさせてください。

▶ 複数の指紋を利用設定しているときは

利用設定しているどの指をスライドしても、認証が行われます。

▶ 指紋を登録していないときは

指紋を登録していない、または登録していても利用設定を行っている指がないときは、指紋認証画面は表示されません。認証時には、暗証番号の入力画面が表示されます。

■ 暗証番号で認証を行う

1 指紋認証画面で (番号) を押す

または、暗証番号の最初の1桁を入力します。
暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 ~ で4～8桁の暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。


3 を押す

暗証番号が正しいと、次の画面に進みます。

▶ 暗証番号が間違っているときは

「暗証番号が違います」と表示され、手順1の指紋認証画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「暗証番号」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、 を押します。入力した数字が右端から消えます。

暗証番号で認証を行う

操作中に暗証番号による認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

1 ~ で4～8桁の暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。


2 を押す

暗証番号が正しいと、次の画面に進みます。

▶ 暗証番号が間違っているときは

「暗証番号が違います」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「暗証番号」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、 を押します。入力した数字が右端から消えます。

ボタン操作をロックする（キーロック）

鞆に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

キーロックを設定する

1 キーロックスイッチを上げる

待ち受け画面に「キーロック」と表示されます。

キーロックスイッチは本体右側の側面にあります。「各部の名前」(P.1-8ページ)

▶ 操作中の画面でキーロックスイッチを上げたとき



すぐにキーロック状態にはならず、待ち受け画面に戻ったときにキーロック状態になります。

キーロックを解除する

1 キーロックスイッチを下げる

「キーロック」の表示が消えます。

お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中は、を押して電源を切ることができません。
- キーロック中も、を押して電源を入れることができます。

ダイヤルをロックする (Sダイヤルロック)

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。ダイヤルロックを設定すると、キーロックを設定した際、自動的にダイヤルをロックします。ダイヤルロックを設定するには、指紋認証または暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で **MENU** **9** **1** を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(P.11-11ページ)、
「暗証番号で認証を行う」(P.11-12ページ)

3 **1** (ON) を押す

ダイヤルロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

4 キーロックスイッチを上げる

キーロックと同時に、ダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面に「**1**」が表示されます。

■ダイヤルロックを解除するには

1 キーロックスイッチを下げる

2 **0** ~ **9** のいずれかを押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(P.11-11ページ)、
「暗証番号で認証を行う」(P.11-12ページ)

ダイヤルロックが解除され、「**1**」の表示が消えます。

お知らせ

- 手順2では、**1**以外のいずれかのボタンを押しても手順3に進めます。

■ダイヤルロック設定中でも可能な操作

かかってきた電話に出ることができます。

110番、118番、119番の緊急通報に電話をかけることができます。

無操作が続いたときにダイヤルロックする (オートダイヤルロック)

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が続いたとき、自動的にダイヤルロックがかかるように設定することができます。ダイヤルロック中は、電話をかけることができません。「ダイヤルをロックする (Sダイヤルロック)」(※ 11-14 ページ)

自動的にダイヤルロックがかかるまでの時間は、1～99分の間で設定できます。また、オートダイヤルロックを設定/解除するには、指紋認証または暗証番号の入力が必要になります。


1 待ち受け画面で を押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※ 11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※ 11-12 ページ)

3 (ON) を押す

▶ オートダイヤルロックの設定をOFFするには


 (OFF) を押すと、オートダイヤルロックの設定が解除されます。操作していない状態が続いても、ダイヤルロックはかかりません。

■ダイヤルロックを解除するには

1 ～ のいずれかを押す

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※ 11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※ 11-12 ページ)

ダイヤルロックが解除され、「解除しました」と表示された後「」の表示が消えます。この場合、待ち受け画面表示のまま操作していない状態が設定した時間だけ続くと、再度オートダイヤルロックが実行されます。

■ダイヤルロック中でも可能な操作


かかってきた電話に出ることができます。

110番、118番、119番の緊急通報に電話をかけることができます。


4 ～ で時間を入力し、 を押す

オートダイヤルロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ オートダイヤルロック設定中の動作

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が、手順4で入力した時間だけ続くと、自動的にダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面には「」が表示されます。

お知らせ

- 手順1では、 以外のいずれかのボタンを押しても手順2に進めます。

紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）

リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。

他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送信することで、電話機をロックして使用できなくなったり、登録されているデータを消去したりできます。

■リモートロック機能でできる処理

①リモートロック

電話機をロックして、ほとんどの操作ができなくなります。

着信を受けて通話することや、電源のON・OFFは可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳や発信履歴／着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサーの設定も無効になります。「エニーキーアンサーを設定する」(※ 13-16 ページ)

②リモートロック+データ消去

①に加え、電話機およびmicroSDカードに登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去+初期化」で消去・初期化される項目とほぼ同じです。「設定をリセットする（リセット）」(※ 11-33 ページ)

ただし、以下の3項目は初期化されません。

- ・指紋登録「指紋を登録する」(※ 11-8 ページ)
- ・暗証番号「暗証番号を設定する」(※ 11-11 ページ)
- ・リモートロック設定「リモートロック機能の設定をする」(※ 11-17 ページ)

③リモートロック解除

リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

■リモートロックの実行

上記①～③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送信することにより実行します。

・サブアドレス付き発信（サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から）

・ライトメール送信（ライトメール対応のPHS電話機から）

コマンドを送信すると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USBケーブル抜き差し・microSDカード抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

お知らせ

- リモートロックを実行すると、着信者表示機能、画像表示機能、指定着信機能、留守録は無効になります。「電話帳を利用する」(※ 7-45ページ)「電話やメールの着信時に表示される画像を設定する」(※ 7-49ページ)「電話やメールの着信音を選択する」(※ 7-50ページ)「留守録音を設定する」(※ 7-74ページ)
- リモートロックを実行すると、目覚まし音、スケジュールのアラーム音は鳴らなくなります。
- リモートロックを実行すると、設定していた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック+データ消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定をOFFにしてください。
- コマンドを受信後、コマンドが実行されるまでにmicroSDカードを抜いた場合、microSDカード内のデータ消去は実行されません。
- コマンドが実行されている間にmicroSDカードを抜いたり、電池がなくなった場合、microSDカード内のデータ消去は完全に実行されません。
- リモートロックは、ウィルコム社のオンラインサポート(My WILLCOM)からも実行することができます。

リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、許可パスワードを設定します。また、ライトメールによる操作、サブアドレス付き発信による操作について、それぞれ設定を行います。

リモートロック設定画面を表示する

リモートロック機能に関する設定は、リモートロック設定画面から行います。リモートロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で を押す

「暗証番号で認証を行う」(※ 11-12ページ)

2 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※ 11-11ページ)

認証されるとリモートロック設定画面が表示されます。

許可パスワードを登録する(許可パスワード登録)

最初に、リモートロック機能用の許可パスワードを登録します。

許可パスワードは、4～8桁の数字で設定します。


実際にリモートロック機能を使う際には、ここで登録した許可パスワードを入力して命令(コマンド)を送信することになります。

1 リモートロック設定画面で、 (許可パスワード登録) を押す

3 を押す

許可パスワードが登録され、「登録しました」と表示されます。

2 ~ でパスワードを入力する

入力したパスワードを修正する場合は、 を押します。入力した数字が右端から消えます。

お知らせ

- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする (サブアドレス起動)


サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。

特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2件まで登録できます。

許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、 (サブアドレス起動) を押す

▶ 許可パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、 (サブアドレス起動) は選択できません。先にパスワードを設定してください。「許可パスワードを登録する (許可パスワード登録)」(※P.11-17ページ)

2 ~ のいずれかを押す

▶ (ON (番号制限あり)) を押すと

許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されるので、手順3に進みます。

▶ (ON (番号制限なし)) を押すと

「ON番号制限なし」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでも、サブアドレス付き発信でのリモートロック操作ができます。

▶ (OFF) を押すと



「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。サブアドレス付き発信でのリモートロック操作は実行できません。

3 または を押す

4 ~ で許可電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ 電話番号を修正するには

 で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、 を押します。

5 を押す

次の許可電話番号を登録するとき、手順3~5を繰り返します。

6 (登録) を押す

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

ライトメールでのリモートロックの設定をする (ライトメール起動)


ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。

特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2件まで登録できます。

許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、 (ライトメール起動) を押す

▶ 許可パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、 (ライトメール起動) は選択できません。先にパスワードを設定してください。「許可パスワードを登録する (許可パスワード登録)」(※P.11-17ページ)

2 **1. 3** ~ **3. 0OFF** のいずれかを押す**▶ 1. 3 (ON (番号制限あり)) を押すと**

許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されるので、手順3に進みます。

▶ 2. 3 (ON (番号制限なし)) を押すと

「ON 番号制限なし」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでもライトメールによるリモートロック操作ができます。

▶ 3. 0OFF (OFF) を押すと

「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。ライトメールでのリモートロック操作は実行できません。

3 **1. 3** または **2. 3** を押す**4** **0. 24** ~ **9. 99** で許可電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ 電話番号を修正するには

4. 4 で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、**9. 9** を押します。

5 **0. 24** を押す

次の許可電話番号を登録するときは、手順3~5を繰り返します。

6 **MAK** (登録) を押す

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのサブアドレス付き発信またはライトメールにより、リモートロックやデータ消去を実行します。

サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。

本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

■許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）」（※11-18ページ）

この場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック+データ消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

xxxxxxxxは、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（※11-17ページ）

■入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX *011234567

電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「*」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違があると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送信した場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ビボ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。

ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

■許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送信する必要があります。「ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）」（※ 11-18 ページ）

この場合、許可電話番号からライトメールを送信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ 1xxxxxxxxx
②リモートロック+データ消去	ソウサ 3xxxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ 0xxxxxxxxx

コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。

xxxxxxxxは、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（※ 11-17 ページ）

■入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面でTo欄に「0701234XXXX」、本文欄に「ソウサ11234567」と入力し、送信します。

ライトメール送信の操作の詳細については、「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（※P11-17ページ）を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーションを付けて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信完了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

ユーザの情報をロックする（ロック設定）

本電話機内に保存されているユーザの情報を保護するために、一部の機能をロックすることができます。ロック設定を行うと、機能を使うときやデータを閲覧するときに指紋や暗証番号による認証が必要になります。

ロックする項目を設定する

1 待ち受け画面で **[MENU]** **[95%** を押す

2 **[7.8.9]**（ロック設定）を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（※P.11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（※P.11-12ページ）

4 ロック設定する機能を選択する

[<=>]（変更）を押し、ロックする機能にチェックを付け、ロックを解除する機能はチェックを外します。

▶ 1件ずつ選択するには

[F] で設定する機能を選択し、**[<=>]**（チェック）を押します。機能の先頭に「**[☑]**」が付きます。チェックを外すときは、再度 **[<=>]**（チェック）を押します。

▶ 全件選択するには

[MENU]（メニュー）を押し、サブメニューで **[1.2]**（全て選択）を押します。すべての番号の先頭に「**[☑]**」が付きます。チェックを外すときは、**[MENU]**（メニュー）を押し、サブメニューで **[2.3]**（全て解除）を押します。

5 **[MAN]**（完了）を押す

ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべて「解除」に設定されています。
- 手順4で「スケジュール」を選択して「スケジュール」をロック設定した場合は、**[MENU]** **[5.6]** **[3.4]** を押して **[3.4]**（カレンダー設定）を押したときに、**[95%**（スケジュールカレンダー）を選択できなくなります。また、壁紙をスケジュールカレンダーに設定しているときに「スケジュール」をロック設定すると、自動的に壁紙が1ヶ月カレンダーに変更されます。
- ロックした機能と呼び出そうとしたときは、認証画面が表示されます。指紋または暗証番号による認証を行うと、機能が一時的に解除され使用することができます。他の機能の画面を表示すると、自動的にロック状態に戻ります。
- ロックした情報を他の機能から参照する場合も認証が必要になります。例えば、データフォルダがロックされていると、留守録音の音声データをデータフォルダから選択する場合にも認証が必要です。

ロック設定一覧

ロック設定によって認証が必要になる機能は以下のとおりです。

ロック設定	認証が必要になる機能
プロフィール	プロフィールの表示、編集、引用
メール / Web / Java™	メール関連機能、Web 関連機能、Java™ 関連機能
データフォルダ	データフォルダの表示、データの再生
スケジュール	スケジュールの表示、編集
グループ / 転送	グループモードの使用、ブックマーク転送
インターネット設定	インターネット設定 (ダイヤルアップ設定)
国際ローミング	国際ローミング設定
電話帳	電話帳の表示、編集。「電話帳ロック」と連動しています。「電話帳をロックする (電話帳ロック)」(※ 7-59 ページ)
ユーザ辞書	ユーザ辞書の表示、編集
自作定型文登録	自作定型文の登録、編集
USB データストレージ	USB データストレージの実行
発着履歴 / メモ	発信履歴の表示、着信履歴の表示、番号メモの表示

管理者による制限を行う（管理者ロック）

管理者ロック機能の概要

「管理者ロック」の機能を利用して、本電話機で使用できる以下の機能を制限することができます。

- ・Eメール機能
- ・Web機能
- ・ダイヤルアップ機能
- ・USB接続機能
- ・Java™機能
- ・発信機能
- ・着信機能
- ・先頭一致発信許可

■管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、Web接続、USB接続、Javaなどの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をウィルコムに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発信を許可したり、電話番号の先頭の数字が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

お知らせ

- 管理者ロック機能を利用するには、管理者指紋または管理者パスワードによる認証が必要です。「管理者指紋と管理者パスワードを設定する」(※同じページ内です。)
- 管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去＋初期化をすると初期値に戻ります。「設定をリセットする(リセット)」(※11-33ページ)
- 管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかることを実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただけますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

管理者指紋と管理者パスワードを設定する


管理者ロック機能を利用するには、管理者指紋または管理者パスワードによる認証が必要です。



管理者指紋を登録する

管理者指紋の登録方法は、「指紋を登録する」(※11-8ページ)の手順とほぼ同じです。

初めて指紋を登録する場合は、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードは、お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で   を押す


2  (管理者指紋登録) を押す

3  ~  で管理者パスワードを入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

▶ 管理者指紋を登録済みのときは

登録済みの管理者指紋があり、かつ利用設定が有効になっているときは、管理者指紋の認証画面が表示されます。「認証に利用する指紋を設定する」(※11-9ページ)



指紋認証を行うか、または  (番号) を押して管理者パスワードを入力すると、管理者指紋登録画面が表示されます。

4 を押す

管理者指紋登録画面が表示されます。

5  (新規) を押す

▶ 指紋を登録済みのときは

登録済みの指紋があるときは、 で未登録の項目を選択して  (新規) を押しします。

6 指紋を登録する指を、画面のメッセージに従って指紋センサーに押し当て、上から下にスライドする

スキャンされた指紋が正しく読み取られると、もう一度スライドするようメッセージが表示されます。

▶ 読み取りに失敗したときは

うまく読み取れなかった場合は、画面の指示に従って再度スキャンさせてください。読み取りに3回失敗した場合は、手順4の管理者指紋登録画面に戻ります。手順5から再度操作してください。



7 指紋を3回読み取らせる

読み取りに成功すると、登録名の入力画面が表示されます。


8 管理者指紋の登録名を入力する**9** を押す

「登録しました」と表示され、管理者指紋の登録が完了します。


さらに、登録した管理者指紋を認証に利用するように設定する場合は、手順10に進みます。

10 で「Yes」を選択し、を押す

登録した管理者指紋による認証が可能になります。




管理者指紋の登録名の前には、認証に利用されることを示すマーク  が表示されます。

お知らせ

- 管理者指紋による認証の注意事項については、「指紋認証の注意事項について」(P.11-7ページ)をご覧ください。
- 手順4の管理者指紋登録画面では、認証に利用する指紋の設定が行えます。手順は通常の指紋の場合と同様です。「認証に利用する指紋を設定する」(P.11-9ページ)
- 手順4の管理者指紋登録画面の  (メニュー) からは、指紋の登録名の変更、登録した指紋の削除が行えます。手順は通常の指紋の場合と同様です。「指紋の登録名を変更する」(P.11-9ページ)、「登録した指紋を削除する」(P.11-9ページ)

管理者パスワードを設定する



管理者ロックの設定や完全消去+初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードは、4～8桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で   を押す**2**  (管理者パスワード変更) を押す**3**  ～  で現在の管理者パスワードを入力する

入力した番号は「*」と表示されます。



4 を押す

管理者パスワードが間違っているときは、「管理者パスワードが違います」と表示され、手順2の管理者パスワード変更画面に戻ります。

5  ～  で新しい管理者パスワードを入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

6 を押す

7 確認のため、もう一度、～で
新しい管理者パスワードを入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

8 を押す

新しい管理者パスワードが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 新しい管理者パスワードの入力が、1回目と2回目で異なっていたとき

エラー音が鳴り、「新しい管理者パスワードが正しくありません」と表示されます。もう一度、手順7～8を繰り返してください。

お知らせ

- 設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（※A-10ページ）
- 完全消去＋初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。
- 管理者パスワードが初期値（「0000」）の場合、暗証番号の設定時に管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に設定することもできます。「暗証番号を設定する」（※11-11ページ）


管理者ロック機能の設定をする

管理者ロック機能の設定には、Eメール制限、Web制限、ダイヤルアップ制限、USB制限、Java™制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可があります。

管理者ロック設定画面を表示する

管理者ロック機能に関する設定は、管理者ロック設定画面から行います。
管理者ロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で  を押す

2 （管理者ロック）を押す

3 管理者指紋認証または管理者パスワード
認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」（※11-11ページ）、「暗証番号で認証を行う」（※11-12ページ）
認証されると管理者ロック設定画面が表示されます。

Eメールを制限する

Eメールの送受信とオンラインサインアップができないようにします。「メールアカウントを設定する」(※ 8-6ページ)



1 管理者ロック設定画面で (Eメール制限) を押す

Eメール制限設定画面が表示されます。

2 (ON) を押す

Eメール制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- Eメール制限を「ON」に設定した後、ウィルコムメールサーバーからEメール自動受信の通知を受けた場合は、「センターにEメールがあります」と表示され、Eメールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「」が点灯します。「センターメールあり」を選択し、を押すと「Eメール制限設定中です」と表示されます。「Eメールを受信する」(※ 8-14ページ)
- Eメール制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのEメール送受信は制限されません。
- Eメール制限を「ON」に設定しても、パソコンからのEメール送受信は制限されません。パソコンからのEメールの送受信も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(※ 11-28ページ)

Webを制限する

Web接続ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で (Web制限) を押す

Web制限設定画面が表示されます。

2 (ON) を押す

Web制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Web制限を「ON」に設定した場合、Web接続やオンラインサインアップをすると、「Web制限設定中です」と表示されます。
- Web制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのWeb接続は制限されません。
- Web制限を「ON」に設定しても、パソコンからのWeb接続は制限されません。パソコンからのWeb接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(※ 11-28ページ)

ダイヤルアップを制限する

ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ウィルコム以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。

ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ウィルコムのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭9桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

1 管理者ロック設定画面で **3.ダイヤルアップ制限** を押す

ダイヤルアップ制限設定画面が表示されます。

2 **1.3 (WILLCOMのみ)** を押す

ダイヤルアップ制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定した場合、ウィルコムへのダイヤルアップ番号以外で、Eメール送受信やWeb接続をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOMのみ」に設定しても、パソコンからのダイヤルアップ接続は制限されません。パソコンからのダイヤルアップ接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(※同じページ内です)。

USB接続を制限する

USB接続をして使用する機能(Eメール送受信、Web接続、データ通信、ファイル転送、H*問屋、Intellisyncなど)への接続ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で **4.USB制限** を押す

USB制限設定画面が表示されます。

2 **1.3 (ON)** を押す

USB制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- USB制限を「ON」に設定した場合、USB接続をして使用する機能を実行しようとする、パソコン上でエラーとなります。
- USB制限を「ON」に設定した場合でも、USB充電は可能です。

Javaを制限する

JavaアプリケーションからのダイヤルアップとUSB通信ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で (Java制限) を押す

Java制限設定画面が表示されます。

2 (ON) を押す

Java制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Java制限を「ON」に設定した場合、JavaアプリケーションからダイヤルアップやUSB通信を実行しようとすると、エラーとなります。

発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で (発信制限) を押す

発信制限設定画面が表示されます。

2 (ON) を押す

発信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送はできなくなります。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（発信型）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、電話帳に発信先の電話番号を登録してください。「発信型機能を利用する」(※ 13-45ページ)
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、*931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- 発信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送やH[®]問屋の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えを制限するには、USB接続の制限も同時に設定してください。[USB接続を制限する] (※ 11-28ページ)

着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で (着信制限) を押す

着信制限設定画面が表示されます。

2 (ON) を押す

着信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があったときは、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送ができなくなります。
- 着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ウィルコムからのメール通知は着信できます。
- 電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否が設定されている相手から電話がかかってきたりライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否登録）」（※ 11-4ページ）
- 着信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送やH¹問屋の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えも制限するには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（※ 11-28ページ）

先頭一致発信を許可する

先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。

ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。

先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。

先頭一致発信許可番号の10件すべてが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、すべての電話番号が発信可能となります。

1 管理者ロック設定画面で (先頭一致発信許可) を押す


先頭一致発信許可画面が表示されます。


2 ~ のいずれかを押して登録する位置を選択する

3 ダイヤルボタンで先頭一致発信許可番号を入力する

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。184または186から始まる番号は登録できません。

▶ 先頭一致発信許可番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す

▶ 設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには







設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順4に進む


4 を押す

先頭一致発信許可が設定され、「登録しました」と表示されます。

5 必要であれば、手順2～4の要領で他の番号を同様に設定する

▶ 登録した番号を削除するには

先頭一致発信許可の一覧画面で  を押して削除したい番号を選択し、 (メニュー) を押します。サブメニューで  (一件削除)、 (選択削除)、 (全件削除) のいずれかを押して  を押します。

 (選択削除) を押した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

6 設定が完了したら を押す

管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「未登録」です。
- 先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 位置情報通知機能(発信型)の発信も先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。「発信型機能を利用する」(※ 13-45ページ)
- 先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- 先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
110(警察)、116(ウィルコムサービスセンター)、117(時報)、118(海上保安庁)、119(消防等)、141(留守番電話サービスメッセージあり確認)、143(留守番電話のカスタマーコントロール)、157(データ通信専用窓口)、171(災害時伝言ダイヤル)、177(天気予報)、*931(留守番電話サービス再生)
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能は以下のとおりです。

管理者ロック設定 制限される機能	Eメール 制限	Web 制限	ダイヤル アップ 制限	USB 制限	Java 制限	発信制限	着信制限	先頭一致 発信許可
音声発信	—	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
音声着信	—	—	—	—	—	—	○ ※2	—
ライトメール送信	—	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
ライトメール着信	—	—	—	—	—	—	○ ※2	—
Eメール送受信 (電話機単体)	○	—	○ ※1	—	—	—	—	—
Web接続 (電話機単体)	—	○	○ ※1	—	—	—	—	—
Eメール送受信 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	—	—	—
Web接続 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	—	—	—
データ通信の発信 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	—	—	—
データ通信の着信 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	—	○ ※2	—
リモートロック	—	—	—	—	—	—	—	—
ローミング登録用 ライトメール	—	—	—	—	—	—	—	—
位置情報通知機能 (発信型)	—	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
位置情報通知機能 (着信型)	—	—	—	—	—	—	—	—
Javaダイヤル アップ接続	—	—	○ ※1	—	○	—	—	—
Java USB 通信	—	—	—	○	○	—	—	—
ファイル転送	—	—	—	○	—	—	—	—
H [®] 問屋	—	—	—	○	—	—	—	—

○ : 制限あり

— : 制限なし

※ 1 : วิลコム[®]のダイヤルアップのみ許可

※ 2 : 電話帳に登録されている電話番号のみ許可

※ 3 : 先頭一致発信で許可されている番号のみ許可

設定をリセットする (リセット)

設定した各機能や登録内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

設定だけをリセットしてお客様が登録した内容を残す「オール設定リセット」と、設定も登録内容もすべてお買い上げ時の状態に戻す「完全消去+初期化」の2つがあります。「完全消去+初期化」の場合は、管理者の指紋認証または管理者パスワードの入力が必要になります。

1 待ち受け画面で を押す

2 (オール設定リセット) または (完全消去+初期化) を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

確認のメッセージが表示されます。

▶ 「オール設定リセット」を選択した場合

「指紋や暗証番号で認証を行う」(P.11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(P.11-12 ページ)

▶ 「完全消去+初期化」を選択した場合

管理者の指紋認証または管理者パスワードの入力が必要になります。

4 で「Yes」を選択し、 を押す
確認のメッセージが表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

機能		オール設定リセット	完全消去+初期化		
暗証番号		—	0000		
発信履歴	保存件数	0/30	0/30		
着信履歴	保存件数	0/30	0/30		
番号メモ	保存件数	0/30	0/30		
グループ	リスト1~3	登録件数	0/100		
	リスト1~3	グループ名	グループ1~3		
文字入力	コピー/カットデータ		0/1		
	文字サイズ	20dot	20dot		
	予測変換	ON	ON		
	入力方法	かな入力	かな入力		
ファンクション	学習文字	—	0件		
	メニュー表示	リボルバー	リボルバー		
プロフィール	名前	—	0/1		
	フリガナ	—	0/1		
	メールアドレス入力	—	0/3		
	メモ	—	0/1		
メール	受信BOX	振り分け設定登録数	受信BOX以外のフォルダ	—	0/24
		受信件数	Eメール	—	0/500
			ライトメール	—	0/100
		送信+未送信件数	Eメール	—	0/120
			ライトメール	—	0/30
		下書き件数 (未送信BOX)	Eメール	—	0/20
			ライトメール	—	0/10
		保護件数	Eメール	—	受信+送信+未送信
			ライトメール	—	0/65
		受信BOXフォルダ名		—	受信BOX、ユーザ受信BOX
受信BOX振り分け設定		—	設定なし		
メール詳細画面	文字サイズ変更	20dot	20dot		

機能			オール設定リセット	完全消去+初期化		
メール	Eメール アカウント 設定	Eメール	接続先名称設定	設定なし	設定なし	
			受信メール(POP)	設定なし	設定なし	
			送信メール(SMTP)	設定なし	設定なし	
			アカウント	設定なし	設定なし	
			パスワード	設定なし	設定なし	
			メールアドレス	設定なし	設定なし	
			Eメール自動受信機能	ON	ON	
			名前	設定なし	設定なし	
			署名	OFF	OFF	
			詳細設定	返信メールアドレス	設定なし	設定なし
				Eメール削除設定	削除	削除
				POPポート番号	110	110
				SMTPポート番号	25	25
				SMTP認証	OFF	OFF
				POPbeforeSMTP	ON	ON
	SMTPユーザ名	設定なし		設定なし		
	SMTPパスワード	設定なし		設定なし		
	受信行数制限設定	OFF、600行	OFF、600行			
	認証方式設定	POP	POP			
	アカウント2.3	アカウント2.3	接続先名称設定	設定なし	設定なし	
			受信メール(POP)	設定なし	設定なし	
			送信メール(SMTP)	設定なし	設定なし	
			アカウント	設定なし	設定なし	
			パスワード	設定なし	設定なし	
			メールアドレス	設定なし	設定なし	
			名前	設定なし	設定なし	
			署名	OFF	OFF	
			詳細設定	返信メールアドレス	設定なし	設定なし
				Eメール削除設定	削除	削除
				POPポート番号	110	110
				SMTPポート番号	25	25
				SMTP認証	OFF	OFF
				POPbeforeSMTP	ON	ON
SMTPユーザ名				設定なし	設定なし	
SMTPパスワード	設定なし	設定なし				
受信行数制限設定	OFF、600行	OFF、600行				
認証方式設定	POP	POP				
オプション	引用設定	本文	引用しない	引用しない		
		引用文	設定なし	設定なし		
データフォルダ	フォルダ表示切替		表示する	表示する		
	保存件数(ファイル数+フォルダ数)		-	20/1000件		
	表示切替(画像データ)		サムネイル表示	サムネイル表示		
	表示切替(画像以外のデータ)		一覧表示	一覧表示		
	ソート		作成日時順(新→古)	作成日時順(新→古)		
Web	ブックマーク	おすすめ	-	20/20+フォルダ2に1件		
		件数	-	0/20		
		フォルダ名	-	おすすめ、フォルダn		
	Webページを 開く	最後のアドレス	0/1	0/1		
		履歴	0/20	0/20		
	ページメモ	履歴	0/50	0/50		
		ページメモ	-	0/10		
	オプション	表示設定	ホーム	公式サイト	公式サイト	
			JavaScript	有効	有効	
			アニメーション	表示する	表示する	
画像			オンデマンド表示	オンデマンド表示		
テーブル			有効	有効		
自動判別言語			日本語	日本語		
BGM			再生する	再生する		
表示モード	ケータイモード	ケータイモード				

機能				オール設定リセット	完全消去+初期化	
Web	オプション	スクロール		3行	3行	
		ズーム		100%	100%	
		HTTP設定	キャッシュ	キャッシュモード	ネットワーク優先	ネットワーク優先
				Diskキャッシュ使用	使用しない	使用しない
			Cookie		受信する	受信する
			最大リフレッシュ回数		無制限	無制限
			最大リダイレクト回数		無制限	無制限
	ポップアップブロック		使用する	使用する		
	認証データ		有効	有効		
	ユーザエージェント		ユーザエージェントグレー表示、NetFrontV3.4	ユーザエージェントグレー表示、NetFrontV3.4		
Web中サブメニュー	ページ設定	文字サイズ		16dot	16dot	
		エンコード		Shift - JIS	Shift - JIS	
スケジュール	日時	音量調整		音量3	音量3	
		登録件数		—	0/1000	
		日付		—	当日時刻	
		開始時刻		—	0:00	
	終了時刻		—	0:00		
	通知設定		—	通知しない		
	スケジュール音設定	スケジュール音		アラーム1	アラーム1	
		音量		音量3	音量3	
		パイプ		OFF	OFF	
		鳴動時間		30秒	30秒	
休日設定		—	0/全日付			
音設定	公衆着信	着信メロディ		パターン1	パターン1	
		着信音量		3	3	
		パイプ		OFF	OFF	
	Eメール着信	着信メロディ		ジングル1	ジングル1	
		着信音量		3	3	
		パイプ		OFF	OFF	
		鳴動時間		10秒	10秒	
	バックグラウンド受信通知		ON	ON		
	ライトメール着信	着信メロディ		ジングル2	ジングル2	
		音量		3	3	
		パイプ		OFF	OFF	
	鳴動時間		10秒	10秒		
	オフィス外線着信	着信メロディ		パターン4	パターン4	
		音量		3	3	
	オフィス内線着信	着信メロディ		パターン6	パターン6	
		音量		3	3	
	パイプ		OFF	OFF		
	オフィス専用線着信	着信メロディ		パターン10	パターン10	
		音量		3	3	
		パイプ		OFF	OFF	
グループ着信	着信メロディ		公衆着信と同様	公衆着信と同様		
	音量		公衆着信と同様	公衆着信と同様		
	パイプ		公衆着信と同様	公衆着信と同様		
効果音選択	キー確認音		パターンA	パターンA		
	成功/エラー音		ON	ON		
	圏外/充電		ON	ON		
	送達確認音		ON	ON		
保留音選択	メロディ		パッサ：イタリア協奏曲	パッサ：イタリア協奏曲		
日時設定	日時設定		—	2007年1月1日 00:00		
	日時表示設定	パターン		大 (日本語)	大 (日本語)	
		表示位置		センタリング	センタリング	
		色		白	白	
日時自動補正		ON	ON			

機能			オール設定リセット	完全消去+初期化		
画面設定	壁紙設定		Keyhole-Black	Keyhole-Black		
	画面配色		Modern	Modern		
	カレンダー設定		OFF	OFF		
画面設定	メインディスプレイ	明るさ	レベル3	レベル3		
		点灯時間	10秒	10秒		
		消灯時間	60秒後	60秒後		
		通話中点灯	OFF	OFF		
		キーライト点灯	ON	ON		
		卓上充電器充電中点灯	ON	ON		
		キーロック中点灯	電源キーのみ	電源キーのみ		
	着信ランプ	イルミネーション	電話着信	パターン1/アジュール	パターン1/アジュール	
			メール着信	パターン2/ミント	パターン2/ミント	
			スケジュール	パターン3/シャンパン	パターン3/シャンパン	
目覚まし			パターン3/カナリア	パターン3/カナリア		
通話時			OFF	OFF		
	リマインダー	パターン1/カラフル	パターン1/カラフル			
画面設定	ON設定の編集項目	日時表示設定	OFF	OFF		
		明るさ	レベル1	レベル1		
		点灯時間	5秒	5秒		
		消灯時間	60秒後	60秒後		
		通話中点灯	OFF	OFF		
		キーライト点灯	OFF	OFF		
		リマインダー	OFF	OFF		
言語選択		日本語 - Japanese	日本語 - Japanese			
画面設定	マナー登録	マナーモード	バイブ	ON	ON	
			電話着信音量	OFF	OFF	
			メール着信音量	OFF	OFF	
			目覚まし音量	OFF	OFF	
			スケジュール音量	OFF	OFF	
			効果音	OFF	OFF	
			留守録音設定	OFF	OFF	
	応答時間設定	10秒	10秒			
	オートサイレント	OFF	OFF			
	受話音量		音量4	音量4		
	ひそひそ設定		OFF	OFF		
通話録音設定		データフォルダ保存	データフォルダ保存			
留守録音設定		OFF	OFF			
	応答時間設定	10秒	10秒			
安全運転モード設定		電話機応答	電話機応答			
画面設定	待受モード設定		-	- (グループ、公衆+グループ、転送時は公衆、公衆登録がなくオフィス登録がある場合はオフィス)		
	位置情報設定		OFF	OFF		
	画面設定	インターネット設定	ダイヤルアップ設定	接続先名称	CLUB AIR-EDGE 接続先2.3	CLUB AIR-EDGE 接続先2.3
				接続先電話番号	0570570099##61	0570570099##61
				ユーザID	clubh	clubh
				パスワード	clubh	clubh
				料金分計	OFF	OFF
				ワンタイムパスワード	OFF	OFF
				Proxy利用	OFF	OFF
				Proxyサーバ名	設定なし	設定なし
				Proxyポート番号	8080	8080
IPアドレス自動取得				ON	ON	
IPアドレス	0.0.0.0	0.0.0.0				
DNS自動取得	ON	ON				
プライマリDNS	0.0.0.0	0.0.0.0				

機能			オール設定リセット	完全消去+初期化	
通信設定	インターネット設定	ダイヤルアップ設定	セカンダリDNS	0.0.0.0	0.0.0.0
			Proxy認証	OFF	OFF
			Proxyユーザ名	設定なし	設定なし
			Proxyパスワード	設定なし	設定なし
		接続モード設定	接続モード設定	接続モード1	接続モード1
			接続モード名称	接続モード1	接続モード1
			Web用ダイヤルアップ接続先	CLUB AIR-EDGE	CLUB AIR-EDGE
			メール用ダイヤルアップ接続先	CLUB AIR-EDGE	CLUB AIR-EDGE
			送信メールアドレス	設定なし	設定なし
			受信アカウント選択	設定なし	設定なし
	毎回選択	OFF	OFF		
	公衆使用接続モード	接続モード1	接続モード1		
	オフィス接続モード	接続モード3	接続モード3		
	通信中着信	音声、PIAFS通信中着信	ON	ON	
		パケット中着信	ON	ON	
	データ通信方式		ベストエフォート型	ベストエフォート型	
国際ローミング	国・地域/事業者選択	日本/WILLCOM	日本/WILLCOM		
	台湾	-	設定なし		
	タイ	-	設定なし		
	ベトナム	-	設定なし		
オフィス番号選択		-	-		
発着信設定	非通知ガード	通知不可能	OFF	OFF	
		ユーザ非通知	OFF	OFF	
		公衆電話発信	OFF	OFF	
	着信拒否	登録	-	0/10	
	番号通知設定		ON	ON	
	発信先応答通知		OFF	OFF	
	エニーキーアンサー		OFF	OFF	
	イヤホン自動応答		OFF	OFF	
	サブアドレス		ON	ON	
	優先発信切替		オフィス、グループ	オフィス、グループ	
外線発信番号		設定なし	設定なし		
Intelli sync	SYNC接続	電話帳データ	同期	同期	
		スケジュールデータ	同期	同期	
	接続設定		-	登録なし	
	前回SYNC日時		-	設定なし	
	ユーザ名		-	default	
	パスワード		-	0000	
電話帳	新規登録	表示切替	あかさたな一覧	あかさたな一覧	
		登録件数	-	0/1000	
		グループ	-	グループ0	
		画像	-	設定なし	
		短縮設定	-	設定なし	
		シークレット設定	-	OFF	
		指定電話着信音	-	設定なし	
		指定Eメール着信音	-	設定なし	
		指定ライトメール着信音	-	設定なし	
		指定電話着信イルミネーション	-	設定なし	
		指定Eメール着信イルミネーション	-	設定なし	
		指定ライトメール着信イルミネーション	-	設定なし	
		グループ設定	グループ名	グループ1~0	グループ1~0
	電話着信		着信メロディ	-	通常と同じ
イルミネーション		-	通常と同じ		
パイプ		-	OFF		

機能			オール設定リセット	完全消去+初期化		
電話帳	グループ設定	Eメール着信	着信メロディ	—	通常と同じ	
			イルミネーション	—	通常と同じ	
			バイブ	—	OFF	
	ライトメール着信	着信メロディ	イルミネーション	—	通常と同じ	
			バイブ	—	OFF	
			登録件数	—	0/10	
指紋センサー	指紋設定	利用設定	—	—		
		ポイントング動作設定	ポイントング設定	OFF	OFF	
	マウスカーソル動作設定	マウスカーソル速度設定	6	6		
		マウスカーソル設定	OFF	OFF		
	管理者認証設定	マウスカーソル速度設定	6	6		
		登録件数	—	0/10		
	カメラ	撮影サイズ	壁紙サイズ	壁紙サイズ	壁紙サイズ	
			オート	オート	オート	
撮影モード			ファイン	ファイン		
撮影画質			QQVGA以外	ファイン		
フォト設定		QQVGA	ノーマル	ノーマル		
		保存先選択	データフォルダ	データフォルダ		
		日付スタンプ	解除	解除		
		シャッター音	パターン1	パターン1		
		フラッシュ	オートフラッシュ	オートフラッシュ		
		ピクト表示	ON	ON		
自動保存	OFF	OFF				
アクセサリ	目覚まし	登録件数	0/3	0/3		
		時刻	00:00	00:00		
		曜日設定	一度きり	一度きり		
		目覚まし音	アラーム2	アラーム2		
		音量	音量3	音量3		
		バイブ	パターン3	パターン3		
		鳴動時間	30秒	30秒		
		スヌーズ	OFF	OFF		
		iCレコーダ	プレイリスト	ソート	作成日時順(新→古)	作成日時順(新→古)
			再生出力先	レシーバ	レシーバ	
	メモ帳	録音優先モード設定	ON	ON		
		登録件数	—	0/12		
	ユーザ辞書	ソート	作成日時順(新→古)	作成日時順(新→古)		
	自作定型文	登録件数	—	0/100		
	USB設定	登録件数	—	0/12		
	学習文字クリア	USB充電	高速	高速		
Java™アプリ	学習文字クリア	—	0/32K			
	プリセットアプリ	—	0			
セキュリティ	Sダイヤルロック	許可設定	—	起動ごとに確認		
		ネットワーク接続	—	—		
	リモートロック	許可パスワード登録	—	設定なし		
		サブアドレス起動	OFF	—		
		サブアドレス起動ON(番号制限あり)内電話番号	設定なし	—		
		ライトメール起動	OFF	—		
	リセット	ライトメール起動ON(番号制限あり)内電話番号	設定なし	—		
		オール設定リセット	—	—		
	オートダイヤルロック	完全消去+初期化	—	—		
		(設定ON/OFF)	OFF	OFF		
ロック設定	時間設定	5分	5分			
管理者ロックパスワード	ロック設定	すべてOFF	すべてOFF			
管理者ロック	管理者ロックパスワード	—	0000			
	Eメール制限	—	OFF			
	WEB制限	—	OFF			
	ダイヤルアップ制限	—	OFF			

機能		オール設定リセット	完全消去+初期化
セキュリティ 管理 管理者ロック	USB制限	—	OFF
	Java制限	—	OFF
	発信制限	—	OFF
	着信制限	—	OFF
	先頭一致発信許可	—	設定なし
マイメニュー	登録件数	3/12 オンラインサインアップ 公式サイト Java™アプリ	3/12 オンラインサインアップ 公式サイト Java™アプリ

